

### <概要と課題>

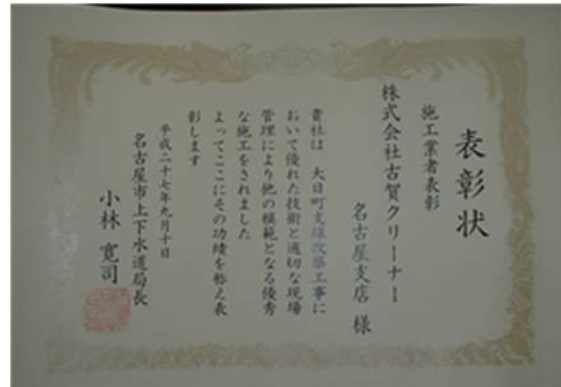
当現場は、名古屋市営地下鉄本陣駅北側にあり、通勤・通学時の往来が激しく更に道路幅も狭く、一方通行が多い為、通行車両及び歩行者に対する安全に配慮し工事を進める必要がありました。施工箇所は約 40mが2スパン、約 16mが1スパンの3スパンで、各箇所が連続していないためその都度作業帯を移動する必要がありました。さらに、通常より短い作業時間となるため、いかに効率よく作業を進めるかが大きな課題となりました。

### <解決策>

交通量や道路幅員の状況より、安全に施工するためには施工箇所を全面通行止めにする必要がありました。そのため、企業や店舗への配送トラックには、配送ルートの変更をお願いするとともに、更に毎週工事予定表を作成し、個別に説明しながら迂回ルートへの協力をお願いしました。その結果、週替わりで通行止めの場所が変更となるにもかかわらず、各企業・住民の皆様のご理解とご協力が得ることができました。

通常より短い作業時間での施工に対しては、毎回作業前ミーティングで作業手順の徹底を図り、各作業員の役割分担を明確にし、効率よく作業に取り組まれるようにしました。また、作業責任者は作業の進捗状況を把握し的確に作業が行われているかどうか確認するよう努めました。これにより工程上の問題や車両運行にかかわるトラブルもなく無事に作業を終える事が出来ました。

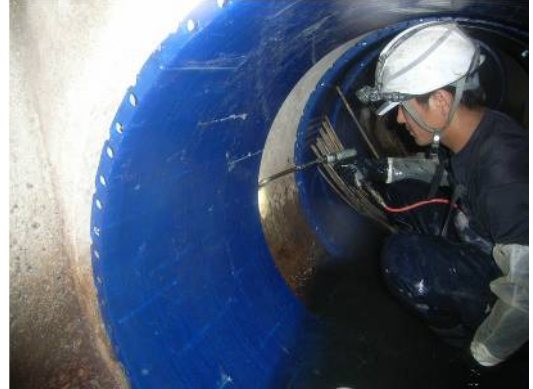
施工の点では、充填剤注入工の条件として「外気温が5℃から30℃での施工を原則とし、それ以外は適切な処置」と技術資料に明記してありますが、施工時期が8月中旬ということもあり外気温及び混練水は30℃を超えた状態でした。そこで、外気温が高いときは給水タンクにシートをかぶせ直射日光をさけ、それでも水温が高くなる場合は氷を入れるなどの対策を施しました。



写真① (表彰状)



写真②



写真③



写真④